

投稿規程・編集後記

鳥取市立病院業績集 論文投稿規程

20210903改訂

1 投稿者

鳥取市立病院職員であること、かつ当該年度内の実績であることを原則とする。

2 原稿の採否

原稿の採否は、編集担当者において決定する。

3 原稿の書き方

1) 原稿は和文とする。本文は、Word文書で作成（日本語はMS明朝体、外国語はCentury、10.5ポイント）し、A4版に横書きで記載する。句読点を適切に使用し、原則として文中、図表の外国語やアラビア数字は半角とする。文書にはタブ設定、段組、脚注等の複雑な特殊設定はせず、改行は段落変更以外使用しない。

2) 論文は次の体裁を整えること。

(1) 研究論文・看護局看護研究

①表題、所属、執筆者名

所属は、鳥取市立病院 所属部署名 氏名の順に記載。複数の場合は、それぞれ部署名と執筆者名を明記する。例) 鳥取市立病院 内科 鳥取 太郎

②要旨

③キーワード (5語以内)

④本文

本文は原則として、緒言、対象および方法、倫理的配慮、結果、考察、結語（謝辞）の順序で構成する。ただし、論文の性質によっては簡潔にしてもよい。

⑤引用文献

引用文献は本文の次に一括して記載する。* 7 「引用文献の書き方」で詳細を述べる

⑥図・表・写真

表、グラフの作成には、Excelを使用し、Excelファイルを提出する。図・写真などはjpg等の画像形式として提出する。なお、最大でもA4半ページに納まるサイズとし、挿入箇所は本文中に明記する。図表の配色は、白黒印刷を考慮する。説明用配布資料・パンフレット・アンケート用紙等は添付しないこと。（ただし論文の中で重要な位置づけとなる場合には、抜粋部分を掲載することは可能である。）

図及び表は図1、表1と番号を付ける。

(2) 症例報告

①表題、所属、執筆者名

②要旨

③キーワード (5語以内)

④本文：緒言、症例、結語の順に記述する。

⑤文献

⑥図・表・写真

4 個人情報の保護

個人情報保護に十分配慮し、個人が特定できる情報は記載しない。

例) 患者A 20歳 男性 のように表記し、イニシャルは使用しない。

写真には目隠しを行い、診断画像等においてもID、氏名等は削除しておく。

5 校正

査読は、執筆者（看護局、医療技術局は所属長含む）において十分に行うものとする。原稿の長さ、文体などについて編集上の都合で改変を求める場合がある。校正作業は、編集担当者を中心に行う。

6 原稿の提出について

上記3の様式で作成した電子ファイルを院内サーバ上の指定された場所に保存する。原稿提出期限は、毎年5月末とする。雑誌掲載論文に関して転載許可が必要な場合は、編集担当者が許可申請を行うので雑誌名及び出版社等を編集担当者へ通知すること。

7 引用文献の書き方

引用文献は、本文中の引用箇所順に肩番号をつけ本文の終わりに肩番号の順序に従って列挙する。文献ごとに著者名、標題、雑誌名、発行年（西暦）、巻号、頁（最初と最後）を明記する。複数著者名は筆頭著者のみとし、「、他」「,et al.」で省略する。欧文雑誌名はIndex Medicusの省略名、邦文雑誌名は医学中央雑誌の省略名に各準拠する。投稿中、印刷中または巻や頁が確定していない段階で「Epub ahead of print」として雑誌刊行前にオンラインで発表されている論文の場合は、書誌事項を規定に従い記し、頁数の位置に「inPress」または「Epub ahead of print」などと記載し、DOI表示がある場合は記載する。

a. 逐次刊行物（雑誌・新聞）の場合

- 1) 足立誠司. 鳥取市立病院を含めた東部圏域での地域包括ケアへの取り組み. 地域連携入退院在宅支援. 2017 ; 10 (1) : 77-83.
- 2) 医療事故調届け出36件. 朝日新聞. 2016年1月9日朝刊 : 第5面
- 3) Kakehi E, et al. Serum non-high-density lipoprotein cholesterol levels and the incidence of ischemic stroke in a Japanese population: the Jichi Medical School cohort study. Asia Pac J Public Health. 2015 ; 27 (2) : NP535-543.
- 4) Kim HB, et al. Mesenteric Artery Growth Improves Circulation (MAGIC) in Midaortic Syndrome. 2017 Oct 5;Epub ahead of print. doi:10.1097/SLA.0000000000002540.[引用2017-10-10]

b. 単行本の場合

- 1) 浦上克哉. 認知症よい対応・わるい対応. 日本評論社. 2010.
- 2) 足立誠司. 痛みの評価-鎮痛薬の投与をする前に痛みの評価を行う : スーパー総合医緩和医療・終末期ケア. 長尾和宏編. 中山書店. 2017. 18-23.
- 3) 日本医師会男女共同参画委員会、他. 女性医師バンクの認知 : 女性医師の勤務環境の現状に関する調査報告書. 2009. 27.
- 4) L.H.Sobin, et al. (UICC日本委員会TNM委員会訳). TNM悪性腫瘍の分類 第7版 日本語版. 金原出版. 2010.

c. 電子文献の場合

- 1) 独立行政法人統計センター. 政府統計の総合窓口 (e-Stat). [引用2017-10-10] Available from URL <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>
- 2) 厚生労働省. 平成26年患者調査 上巻第3表 (その2) 推計患者数の年次推移, 入院-外来×傷病分類別 (平成8年~26年). [引用2017-10-10] Available from URL <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001141596>

編 集 後 記

鳥取市立病院業績集第31巻（令和6年度実績）をお届けします。

電子媒体での発刊も2年目となり、特に今回、長らくモノクロ表示だったコンテンツをカラー化したことで、視覚的によりわかりやすく、楽しんでいただける誌面になったと感じています。グラフや図表の情報が色付けされ、内容理解が格段に向上しました。

また、紙での発行を行わなくなったことで、環境負荷の軽減や印刷・配布コストの削減といったメリットも生まれました。一方で、電子媒体特有の閲覧のしやすさや適切な案内方法により、必要な情報に迅速にアクセスでき、内容が読者に確実に届くよう配慮することが重要となります。その点においても、発行に携わった各部門の皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。

さて、2025年は団塊世代が後期高齢者となり、高齢化がさらに進み地域における医療・介護のニーズはかつてないほど多様化・複雑化しています。当院では在宅医療の充実、多職種連携の強化、地域包括ケアの推進に力を注いできました。患者さん一人ひとりの人生に寄り添う医療を、職員一丸となって提供してまいりました。

その一方で、急性期病院として、命に関わる場面で迅速かつ的確な医療を提供するという責任も担っています。手術や集中治療など、日々の現場では緊張感のある判断が求められます。そんな中でも、患者さん一人ひとりの不安に寄り添い、安心して治療を受けていただけるよう、チーム一丸となって取り組んできました。

職員一人ひとりが、忙しい中でも笑顔と優しさを忘れず、互いに支え合いながら歩んできたことが何よりの誇りです。日々の医療現場での努力や研鑽が、この業績集を通じて少しでも伝わり、学びや気づきにつながれば幸いです。

今後も、内容の充実とともに、電子の利点を活かした情報発信を目指し、より多くの皆さまに届く工夫を重ねてまいります。

閲覧いただく皆さまが、知りたい情報に容易にアクセスできることを希望しつつ、本巻の完成に至りましたことをご報告申し上げます。

令和7年9月 編集担当者

鳥取市立病院業績集 第31巻 令和6年度

発行：鳥取市立病院
鳥取市的場一丁目1番地
TEL (0857)37-1522

